

表 重要地域（区域の生物学的特性を示す生態系）
都道府県・区域別集計

主な所在地	コード	国土区分の地域番号											都道府県別地域数
北海道	1	25	26									51	51
青森県	2				8							8	9
岩手県	3			6	7							13	14
宮城県	4			14	4		3					21	22
秋田県	5				30							30	28
山形県	6				16							16	19
福島県	7			3	3							6	11
茨城県	8			2			7					9	10
栃木県	9			4			2					6	7
群馬県	10			5	2	1						8	8
埼玉県	11			1								1	1
千葉県	12						6					6	6
東京都	13			3			7			3		13	13
神奈川県	14			2			15					17	17
新潟県	15				4							4	9
富山県	16				1							1	3
石川県	17				4							4	4
福井県	18				6	1						7	8
山梨県	19			5								5	7
長野県	20			7	4		1					12	14
岐阜県	21				6							6	8
静岡県	22			1			6					7	8
愛知県	23						7					7	7
三重県	24						2		6			8	8
滋賀県	25				3	1						4	5
京都府	26					4	3					7	7
大阪府	27							2				2	2
兵庫県	28					1		6				7	7
奈良県	29						2		3			5	6
和歌山県	30								8			8	9
鳥取県	31					3						3	3
島根県	32					6						6	6
岡山県	33							2				2	2
広島県	34											0	0
山口県	35					1	4	1				6	6
徳島県	36							1				1	1
香川県	37							3				3	3
愛媛県	38							3				3	3
高知県	39								13			13	14
福岡県	40								8			8	10
佐賀県	41								3			3	3
長崎県	42								6			6	7
熊本県	43								5			5	5
大分県	44								5			5	5
宮崎県	45								15			15	17
鹿児島県	46								5	2		7	7
沖縄県	47									11		11	11
総計		25	26	53	98	18	61	20	79	13	3	396	
%		6.3	6.6	13.4	24.7	4.5	15.4	5.1	19.9	3.3	0.8	100.0	

複数の都道府県にまたがる地域については、主な所在地となる都道府県を対応させている。
都道府県別地域数は、都府県境にまたがる地域の一部のみが含まれる場合も算入したもので、
合計しても総数とは一致しない。

表 重要地域（区域内の環境要因の違いにより特徴づけられる重要な生態系）
都道府県・区域別集計

都道府県名	コード	区域										都道府県別地域数	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		総計
北海道	1	78	36									114	114
青森県	2			5	45							50	50
岩手県	3			9	16							25	26
宮城県	4			33	23							56	57
秋田県	5				72							72	77
山形県	6				69							69	71
福島県	7			12	11		3					26	26
茨城県	8			1			15					16	17
栃木県	9			20	7		1					28	28
群馬県	10			8	10							18	22
埼玉県	11			15			9					24	26
千葉県	12						12					12	12
東京都	13						13				6	19	19
神奈川県	14			1			38					39	39
新潟県	15				20	1						21	23
富山県	16				42	15						57	58
石川県	17				7	23						30	30
福井県	18				1	4						5	5
山梨県	19			10	1		3					14	15
長野県	20			12	20							32	36
岐阜県	21			1	2		6					9	12
静岡県	22			2			16					18	21
愛知県	23						12					12	12
三重県	24						10		16			26	27
滋賀県	25					19						19	19
京都府	26					32	8	1				41	42
大阪府	27							2				2	2
兵庫県	28					28		13				41	41
奈良県	29								11			11	12
和歌山県	30								13			13	13
鳥取県	31					26		1				27	29
島根県	32					27						27	29
岡山県	33					1		10				11	11
広島県	34							14				14	16
山口県	35					10		7	3			20	20
徳島県	36								14			14	14
香川県	37							5				5	5
愛媛県	38							2	7			9	9
高知県	39								30			30	30
福岡県	40								18			18	18
佐賀県	41								5			5	6
長崎県	42								21			21	21
熊本県	43								8			8	8
大分県	44								6			6	6
宮崎県	45								16			16	18
鹿児島県	46								10	4		14	15
沖縄県	47									31		31	31
総計		78	36	129	346	186	146	55	178	35	6	1195	
%		6.5	3.0	10.8	29.0	15.6	12.2	4.6	14.9	2.9	0.5	100.0	

複数の都道府県にまたがる地域については、主な所在地となる都道府県を対応させている。
都道府県別地域数は、都府県境にまたがる地域の一部のみが含まれる場合も算入したもので、合計しても総数とは一致しない。

表 生物群集タイプ・区域別集計

重要地域の種別	コード	生物群集タイプ	区域番号										計		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
区域の生物学的特性を示す生態系	1	北方針葉樹林生物群集	26												26
	2	夏緑樹林生物群集		20											20
	3	北方針広混交林生物群集		5											5
	4	夏緑樹林（太平洋側型）生物群集			53										53
	5	夏緑樹林（日本海側型）生物群集				98	1								99
	6	照葉樹林生物群集					17	61	20	79					177
	7	亜熱帯林生物群集										13			13
	8	亜熱帯林（海洋島型）生物群集											3		3
区域内の環境要因により特徴づけられる重要な生態系	9	高山性生物群集	13	3	7	36	1							60	
	10	亜高山性生物群集			16	56	3	5						80	
	11	山地性生物群集					59	17	13	47				136	
	12	マングローブ生物群集								1	14			15	
	13	河畔林生物群集	2		9	35	9	23	1	4	2			85	
	14	河川生物群集			8	5	14	20	3	4	2			56	
	15	湖沼生物群集	4		4	15	6	11	1	1				42	
	16	高層湿原生物群集	14	13	7	38	4	1		2				79	
	17	中間・低層湿原生物群集	8	3	16	58	32	22	7	20				166	
	18	汽水性生物群集	4		6	3	6	3	7	15				44	
	19	海岸生物群集	20	9	11	29	31	27	5	34	8	4		178	
	20	火山荒原生物群集	3	2	1	9		2		2				19	
	21	特殊岩地生物群集	6	4	12	10	3	5	3	20	9	2		74	
	22	岩角・礫地生物群集	4	2	30	39	21	12	15	21				144	
	23	洞窟・風穴生物群集		2		13				2				17	
総計			104	63	180	444	207	209	75	252	48	9	1591		

表 重要地域（区域の生物学的特性を示す生態系）
区域・面積ランク別集計

	面積ランク					
区域	100000<	10000-100000	1000-10000	100-1000	10-100	総数
1		8	12	5		25
2		5	12	9		26
3	1	4	12	18	18	53
4	4	18	24	34	18	98
5			1	5	12	18
6			5	16	40	61
7				3	17	20
8		2	9	36	32	79
9		3	2	7	1	13
10			2	1		3
総計	5	40	79	134	138	396

表 重要地域（区域内の環境要因の違いにより特徴づけられる重要な生態系）
区域・面積ランク別集計

	面積ランク					
区域	10000-100000	1000-10000	100-1000	10-100	10ha未満	総数
1	4	17	22	5	30	78
2		6	9	4	17	36
3	9	13	14	18	75	129
4	7	34	55	50	200	346
5	2	9	26	12	137	186
6	6	5	16	14	105	146
7	4	4	5		42	55
8	3	15	31	14	115	178
9			10	8	17	35
10					6	6
総計	35	103	188	125	744	1195

6. 重要湿地

<http://www.env.go.jp/press/press.php3?serial=3068> 参照

7．自然景観資源調査

自然景観資源調査は、自然環境保全法第4条に基づく第3回自然環境保全基礎調査の一環として、昭和61～62年度に環境庁（当時）により実施されたものである。

1．調査の目的

自然環境保全上重要な要素である自然景観について、その現況（「何が」、「どこに」、「どのような状態」で存在しているか）を全国的視野で把握するため、視対象である自然景観の基盤（骨格）をなす地形、地質及び自然景観として認識される自然現象に着目して、それらの位置及び特性等を調査する目的で実施された。

2．調査の内容と方法

調査は環境省から委託を受けた各都道府県において、地形学、地質学などの専門家が文献調査、ヒアリング調査並びに図上計測を主体に、また必要に応じて現地調査を加え実施された。調査の対象となった自然景観はつぎのとおりである。

視対象である自然景観の基盤をなす地形、地質及び自然景観として認識される自然現象であること

通常、人間が視覚的に自然景観として認識できるスケールであること

視覚に訴える特徴的なものであること

人工的に造成されたものではないこと

季節的な自然現象ではないこと

3．調査結果

（1）資源数とその分布状況

調査により抽出された自然景観資源数は全国で15,468件であった。最も多いのは滝（2,488カ所）であり、ついで火山（1,158カ所）、峡谷・渓谷（996カ所）、非火山性孤峯（993カ所）、湖沼（872カ所）、海食崖（734カ所）、砂浜・磯浜（632カ所）の順で、この7資源で全体のほぼ半数の50.9%を占めている。

資源の分布状況は、件数で見ると日本アルプスを抱える中部地方が全体の22.9%、ついで東北の21.4%、九州14.2%、関東10.5%の順に多い。

資源の種類別の分布状況を見ると、火山景観、山地景観とも中部地方に最も多く、石灰岩景観は中国地方に多く分布している。一方、水景の方は河川景観が中部、湖沼景観が東北、北海道地方に多く、海岸景観は九州地方が豊富となっている。

（2）資源の保護の現状

自然公園、自然環境保全地域、天然記念物等、何らかの保護制度下にある資源は全体の57.8%である。国立公園内には全体の23.2%、国定公園内には14.6%、都道府県立自然公園内には11.1%が分布しており、それらを合わせた自然公園全体には、全体の48.9%と半数近くが分布している。